避難情報

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人一人違います。 それぞれが自ら判断し、「自分の命は自分で守る」という意識を持って行動しましょう。

避難場所の確認

ハザードマップを確認しましょう。

□ 自宅周辺に浸水想定区域や 土砂災害警戒区域などがある人

周辺の避難所や避難経路を確認して 自宅での安全確保の備えや、周辺の避難

一 自宅周辺に浸水想定区域や └ 土砂災害警戒区域などがない人

所や避難経路を確認しておきましょう。



避難のタイミング

おきましょう。



※市区町村長は、河川や雨の情報 (警戒レベル相当情報) のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報の発令判断をする ことから、避難情報と警戒レベル相当情報の出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難情報の発令は、町全域のほか小学校区など区域(範囲)を絞って行うこともあります。

警戒レベル 5 はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。 警戒レベル 3 高齢者等避難ゃ警戒レベル 4 避難指示で

地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

避難所での過ごし方

避難所では、限られた空間の中でたくさんの方々が生活します。

●地域のどこが指定避難所となっているのかを確

●災害時の被災状況等によっては、最寄りの指定 避難所が開設できない場合があります。町の

●地域の防災訓練などに参加し、普段から助け合

●車中泊避難は、プライバシーの確保、エアコンの

完備、ラジオからの情報入手などの利点もありま

すが、健康を損ねるなどの危険性もあります。エ

コノミークラス症候群による関連死、排気ガスに

よる一酸化炭素中毒に注意しましょう。

ホームページ等で確認しておきましょう。

える関係をつくっておきましょう。

車中泊避難の注意点

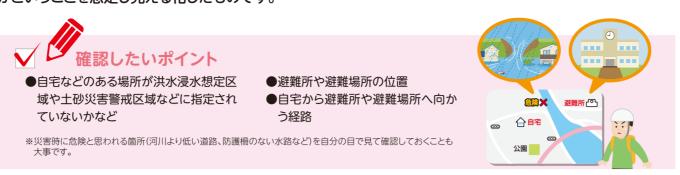
避難所の所在の確認

認しておきましょう。

ルールを守り、住民が主体的に避難所運営に関わり、良好な環境を保ちましょう。

ハザードマップの見方

ハザードマップは、気象や地震などにより、どの場所がどれくらい被災するか、どのような被害が発生する かということを想定し見える化したものです。



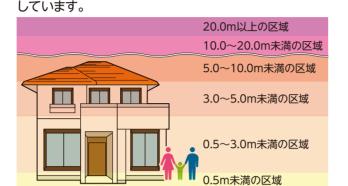
■想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域について

洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に想定される水

深と、家屋倒壊等氾濫想定区域を示したものです。

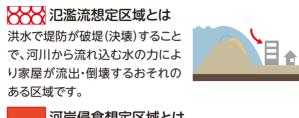
浸水想定区域とは

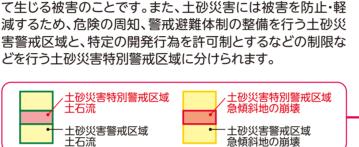
河川が氾濫した場合、その氾濫水により浸水すること が想定される区域です。 「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水の深さ(浸水深)」を示



土砂災害警戒区域について

家屋倒壊等氾濫想定区域とは 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい 氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域です。 早めの立退き避難が必要です。





土砂災害とは、急傾斜地の崩壊や土石流、地すべりを原因とし

福岡県が指定した、土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示して います。



情報伝達の経路

町では、災害発生のおそれのあるときや、災害の発生が確実なときには災害対策本部等を設置し、災害 発生の危険が高まり、避難が必要となる場合には、避難情報を発令します。内容と周囲の状況に注意し て行動しましょう。



特別警報が発表されたら ●ただちに身を守るために最善を尽くしてください。 「特別警報が発表されない」は

「災害が発生しない」ではありません。

注意報や警報、その他の気象情報を収集し、早めの 行動をとることが大切です。普段から避難場所や避

難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

特別警報が発表されないからといって 安心することは禁物です。

判断のための情報入手手段を確保しよう!

ページ内指示に従い情報登録(登録無料、通信料は使用者の負担です)。

●防災無線電話・FAXサービス 防災無線が放送された際に同一の内容を電話(機械音声)かFAX(文書)でお知らせします。

●糸田町防災情報メールの登録方法(防災無線の内容がメールで受信できます)

t-itoda@sg-p.jpに空メールを送信し、返信されてきたメール内URLにアクセス

登録希望の人は電話またはFAXで申込みください。 ▶登録申込み:糸田町役場防災管財課

電話0947-26-1232 FAX0947-26-1651(平日 午前8時30分~午後5時)※祝日を除く ●防災無線聞き直し電話番号(防災無線の内容を電話で聞き直せます)

▶0800-200-2284(通話料無料) ▶0947-26-1261(通話料有料)

いざという時の連絡先

防災情報の収集

注意報

警報

特別警報

雨量情報

ダム情報

河川水位情報

河川監視カメラ映像

土砂災害関連情報

土砂災害危険度情報

避難指示等の発令基準

避難計画の活用 など

洪水浸水想定区域 など

土砂災害警戒情報

雨量レーダー情報

キキクル など

水害・土砂災害に関する防災情報のお問い合わせ先

気象情報について

【お問い合わせ先】

遠賀川河川事務所

https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/index.html

洪水キキクル【洪水警報の危険度分布】

国土交通省が管理する河川に関して

福岡県が管理する河川に関して

土砂災害警戒区域 など 【お問い合わせ先】県土整備部砂防課 TEL:092-643-3678

福岡県総合防災ホームページ https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/

https://www.town.itoda.lg.jp/

https://line.me/R/ti/p/@709qcvwd

九州電力送配電(株)ホームページ

土砂災害情報について

糸田町ホームページ

糸田町公式LINE

【お問い合わせ先】

https://www.river.go.jp/index/twninfo/

【お問い合わせ先】福岡管区気象台 TEL:092-725-3600

https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/

土砂キキクル【大雨警報(土砂災害)の危険度分布】

https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:14/

浸水キキクル【大雨警報(浸水害)の危険度分布】

pc?type=fldfr&prefCd=4001&twnCd=4001604

https://sogo-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/sabo/

九州地方整備局水災害予報センター TEL:092-707-0110

https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/sinsui-soutei.html

【お問い合わせ先】県土整備部河川管理課 TEL:092-643-3690

【お問い合わせ先】福岡県総務部防災危機管理局 TEL:092-643-3112

【お問い合わせ先】糸田町防災管財課 TEL:0947-26-1232

【お問い合わせ先】糸田町地域振興課 TEL:0947-26-4025

https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/lp/app_mamorukur

福岡県総務部防災危機管理局防災企画課 TEL:092-643-3112

https://www.kyuden.co.jp/td_functions_office_index.html

【お問い合わせ先】停電情報自動応答サービス TEL:0120-426-305

防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」

https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#lat:33. 659817/

lat:33.659817/lon:130.774040/zoom:14/colordepth:normal

colordepth:normal/elements:land/lat:33. 659817/lon: 130.77404

lon: 130.774040/zoom:14/colordepth:normal/elements:inund

TEL:0949-22-1830



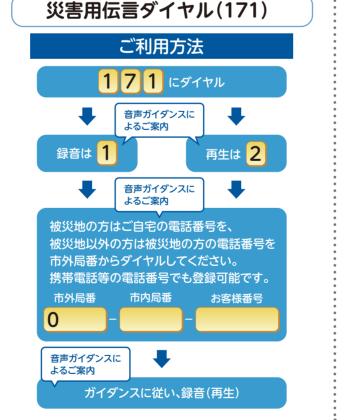


災害用伝言ダイヤル(171)(Web171)

災害発生時は、被災地への通信が増加し、家族や知人との連絡がつながりにくい状況になります。 電話会社各社では、大規模な災害が発生した際の連絡方法として「災害用伝言サービス」などを 提供しています。

いざという時のために、事前に利用方法を確認しておきましょう。





災害用伝言板(web171) ご利用方法 災害用伝言版 にアクセス 伝言を登録 伝言を確認 1

【登録の手順】 伝言を登録した 電話番号を入力し て、「登録」を クリ クしてください。 名前とメッセージ 入力する画面が表 示されますので、 てください。

クしてください。 名前とメッセージ 入力された画面が 表示されますので 安否状況等を確認 してください。

【確認の手順】

伝言を確認した

電話番号を入力

て、「確認」を クリ

災害用伝言ダイヤル(171)ご利用の注意 伝言録音時間:1伝言あたり30秒以内 伝言保存期間:提供終了まで

伝言蓄積数:電話番号あたり1~20伝言(提供時にお知らせいたします) ※伝言蓄積数や保存期間等は災害の状況により異なります。最新の情報は下記ホームページ等でご確認ください。 https://www.ntt-west.co.jp/corporate/disa.html

ご利用できる電話 加入電話、ISDN※、公衆電話、ひかり電話※、災害時特設公衆 電話からご利用できます。

事業者へお問い合わせください。

ご利用料金 伝言蓄積等のセンター利用料は無料です。NTT西日本の電 話から伝言の録音・再生をする場合の通話料は無料です。 他通信事業者の電話から発信する場合の通話料について は各通信事業者にお問い合わせください。

体験利用日

●毎月1日及び15日(0:00~24:00)

携帯電話やPHSからもご利用いただけますが、詳しくは各通信

※ダイヤル式電話機をお使いの場合、ご利用になれません。

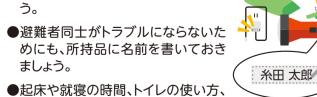
- ●正月三が日(1月1日0:00~1月3日24:00) ●防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- ●防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

詳しくは、https://www.ntt-west.co.jp/dengon/

検索

避難所生活 ■ 生活ルールを守りましょう

●所持品は、1か所にまとめて、緊急時 にはすぐに持ち出せるようにしましょ



喫煙場所、ペット同伴の可否など避 難所のルールを守りましょう。

■ 役割分担して運営に参加しましょう ●避難者もできる範囲で、受け付け や清掃、炊き出し、物資の配布な ど役割分担をしましょう。

●助け合いながら避難所運営 に参加しましょう。

■ 生活環境を衛生的に

●ゴミは所定の場所へ。

●トイレや浴室などの衛生を保ちましょう。発災 後にトイレが使用できない場合に備えて簡易 トイレなども備蓄しておくと便利です。

●掃除などは定期的に行い、清潔な状態を保ち ましょう。

■ 災害時要配慮者への配慮

しょう。

●障がいのある人や高齢者、妊産婦の方には、 手助けをしましょう。 ●車いすが通行できるよう、バリアフリー化をし

ましょう。 ●おむつ交換や補装具交換が必要なときは、間 仕切りやカーテンを設けるなどの配慮をしま

●ちょっとした工夫と配慮で、みんなが生活しや すい環境をめざしましょう。

揺れやすさマップ

